



日本スーパーマーケット協会

平成26年1月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	50,685,859 万円	100.0%	102.5% (103.4%)	48,767,698 万円	100.1% (100.9%)
食 料 品	41,893,729 万円	82.7% (82.6%)	103.1% (104.0%)	40,209,612 万円	100.2% (101.2%)
農 産	6,449,802 万円	12.7% (12.0%)	104.5% (108.5%)	6,308,293 万円	101.7% (105.8%)
水 産	4,487,712 万円	8.9% (9.2%)	102.7% (103.5%)	4,222,073 万円	99.6% (100.8%)
畜 産	5,128,080 万円	10.1% (10.1%)	108.0% (106.6%)	5,016,717 万円	105.0% (103.5%)
惣 菜	4,464,902 万円	8.8% (8.6%)	104.3% (105.5%)	4,264,180 万円	100.7% (102.2%)
日配食品	9,177,279 万円	18.1% (17.7%)	103.1% (104.1%)	8,759,946 万円	100.5% (101.3%)
加工食品	12,185,954 万円	24.1% (25.0%)	100.0% (100.7%)	11,638,403 万円	97.4% (98.1%)
生活関連	3,483,519 万円	6.9% (7.2%)	100.3% (100.4%)	3,408,624 万円	99.2% (99.3%)
衣 料 品	1,903,269 万円	3.7% (3.6%)	97.0% (94.3%)	1,863,771 万円	97.2% (94.5%)
そ の 他	3,405,342 万円	6.7% (6.6%)	101.2% (103.6%)	3,285,691 万円	100.8% (102.2%)

② 数 値

全店総売上高	50,685,859 万円	店 舗 数	4,483 店舗
総売場面積	8,675,730.4 m ²	総従業員数	228,904 人

店舗平均月商	11,306.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,864 円 (99.8%)
月間m ² 売上(前月)	5.8 万円 (7.0 万円)	平均店舗面積	1,935.3 m ²
月間坪売上(前月)	19.3 万円 (23.0 万円)	パート比率(前月)	77.6% (77.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 1月は月間を通して気温が高めに推移し、降雪も少なかったため、生鮮食品を中心に動向が良く、全店既存店前年比100%を4カ月連続、食料品既存店前年比8カ月連続で超過した
- ・ 風邪・インフルエンザの予防対策としてか、機能性ヨーグルトおよび乳酸菌飲料の動向が好調に推移した
- ・ 冷凍食品の動向が農薬混入報道依頼、落ち込みが激しくなった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 青果では、土物、きのこ、きゅうり、ブロッコリー、カット野菜の動向が良かった。一方で、相場高の続いたキャベツ、レタスの動きが鈍かった
- ・ 果物では、食味の良かったみかん、りんごの動向が良かった。また、いちごは寒波の影響で数量が減り、相場上昇のため販売しづらく動きが鈍かった

○ 水産

- ・ 鍋商材の生真だらは入荷状況が良く、相場高の影響も物ともせず順調に販売できた
- ・ 昨年ノロウィルス報道で大きくダウンしたカキは、動きが良かった
- ・ 主力のぶりが苦戦した。天然ものは比較的好調も、養殖ものが相場高の影響で動きが鈍かった

○ 畜産

- ・ 精肉では、牛肉、豚肉、鶏肉すべての畜種の動きが良かった。牛肉は年始に和牛のうす切りやしゃぶしゃぶの動向が良かった。平日では国産、輸入牛の切り落としを中心に販売し動向が良く、豚肉は平日の切り落としが好調で、週末はしゃぶしゃぶ用の動きが好調だった。鶏肉は相場高の影響で、単価が上昇し売上は良かった
- ・ 加工肉は、ロースハム、ベーコン、ウインナーともに動向は良かった

○ 惣菜

- ・天ぷらの動きが全体的に良く、中でも春野菜のたらの芽の天ぷらの動きが良かった。また、菜の花を使ったアイテムも良かった
- ・サラダ類の動向は相変わらず良かった

○ 日配・加工食品

- ・練り物の動きが好調に推移した。おでん商材の動きも良く、揚げ物の動向も良かった
- ・風邪、インフルエンザ対策の動きか、機能性ヨーグルトおよび乳酸菌飲料が好調に動いた。また、しょうが湯、ホットレモン、甘酒などのホットメニューも好調に推移した
- ・プレミアムアイスクリームや焼き菓子など、高単価商品の動きが良かった
- ・鍋関連の調味料（鍋つゆ、ぽん酢など）の動きが良かった
- ・新米の相場が昨年より大きく下がったため、売上の伸びはなかった

○ 「正月商戦」について

- ・年始は、すきやき関連（和牛・国産牛うす切り、白菜、ネギ、焼き豆腐、しらたきなど）の動きが好調だった
- ・プレミアムビールの動向が良かった。また、ワインの動きも良かった
- ・ロールケーキやショートケーキなど、デザート類の動向が良かった

○ 「成人の日、受験対策」について

- ・成人の日用としての刺身、寿司、オードブルなどの需要は特になかった。また、酒類で大きく伸びたカテゴリーは、特になかった
- ・受験生応援パッケージ商品については、一部の商品の動向が良かった
- ・ホット商品（ココア、しょうが湯、春雨スープ、おかゆ、雑炊など）の動向が良かった
- ・ピザトーストなどの軽食類の動きが良かった

以上